



成田 あれ・これ



令和6年10月号 第352号

発行：成田市観光協会

成田市花崎町839

0476-24-3198

成田市制施行70周年記念事業

成田弦まつり



成田の秋のイベントとして知られる成田弦まつり。成田山表参道の様々な場所で奏でられる弦楽器の演奏を中心に、門前成田寄席(落語)や成田のをどりパレードなど、様々なイベントが開催されます。

成田山へ続く参道を舞台に奏でられる、迫力のある「弦の饗宴」をお楽しみください。

【日 時】10月19日(土) 10時30分～17時30分、10月20日(日) 10時15分～17時
19日は、津軽三味線中心の和の演奏、20日は様々な弦楽器の演奏が開催されます。

【場 所】成田山新勝寺境内・成田山表参道・西参道

☆成田山奉納 津軽三味線大演奏会☆

10月19日(土)16時～(雨天中止) 成田山大本堂前

当日14時より成田山大本堂脇にて着席整理券を配布します。

☆けやぐ三味線バトル☆ 若手奏者による白熱の発表会。全国大会の雰囲気を楽しめます。

10月19日(土) 成田山新勝寺奥山ステージ(11時10分～13時50分)

【交通規制】10月19日(土)10時～18時30分 10月20日(日)10時～17時30分

JR 成田駅前～薬師堂～成田山門前(鍋店角)及び薬師堂～幸町交差点

【お問合せ先】成田弦まつり実行委員会事務局(成田商工会議所内)TEL 0476-22-2101



第141回 成田山 菊花大会

明治16年より続く伝統行事です。成田山菊花会の奉納による大菊3本立てなどの多種多様な菊花を約1ヶ月間展示します。見頃は11月初旬です。

【開催期間】 10月20日(日)～11月15日(金)

【お問合せ先】 成田山新勝寺 TEL 0476-22-2111

成田山菊花会では、毎年5月に菊苗販売会を、10月には各会員の菊花の開花状況を相互に観察し意見交換する菊花下見会を実施しています。

また現在会員募集中で、成田近辺なら入会希望者のための菊花栽培の出張講習が可能ですのでご検討ください。



千葉県立房総のむら「秋のまつり」

「秋の収穫への感謝」をテーマに、伝統的な技の実演や民俗芸能の上演、お米にちなんだイベントなどを行います。

【開催日時】 10月5日(土)、6日(日) 9時～16時30分

【休館日】 月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館。)

【入館料】 一般300円、高大生150円、中学生以下と65歳以上は無料

【お問合せ先】 千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

成田山門前町を行く～その①

今月からは成田山新勝寺の門前町についてひも解いていきたいと思います。

門前町とは神社仏閣にお詣りする参詣客を対象とした旅館や飲食店、土産物店などの商業施設が集まった地域を言います。門前町には古くからの由緒ある神社仏閣が多く、大いに発展したのは江戸時代に遡ります。江戸時代、参勤交代のために五街道や宿場町が整備され、交通網が発展してくると、江戸の町に一大旅行ブームが起きました。

江戸時代も後期になると、町人が経済力をつけ、裕福な商人層を中心にこぞって旅に出るようになります。この旅行ブームの火付け役となったのは、十返舎一九によって書かれた『東海道中膝栗毛』です。皆様ご存じの弥次さん喜多さんコンビが、旅の道中で遭遇したハプニングや失敗談を面白おかしく書き、ベストセラーとなりました。この物語には、日本各地の名所や名物がふんだんに盛り込まれており、それを読んだ人は「行ってみたいな～」「いっちょ旅に行ってみるか！」ということになり、旅行ブームが巻き起こったのです。

当時の江戸っ子達の旅行は、弥次喜多コンビも「お伊勢参り」に出かけたように、信仰の旅が中心でした。現在のように自由に旅に出かけられるのではなく、基本的には領主の許可が必要だったのです。そのため領主が許可せざるをえない寺社参詣という信仰目的の旅、あるいは湯治といった温泉での治療目的の旅として、旅行の届出が出されていました。江戸では江島神社、大山阿夫利神社、成田山新勝寺などに行くことが信心深い庶民の憧れでした。そしてお詣りがてら旅の途中で見聞を広めたり、美味しいものを食べたりと観光レジャーを兼ねた旅行を楽しんでいたのです。

また、江戸時代には旅行のガイドブックも登場します。名所旧跡を絵入りで解説した『名所図会』は、写実的で詳細な絵を掲載し、より情報が伝わるようになりました。ただし、この本はサイズが大きく持ち運びには不便であったようです。当時の人々は、描かれた絵を眺めながら、まだ見ぬ憧れの地に思いを巡らせていたのではないのでしょうか。後に、実用的なサイズの小さく携帯に便利な『道中案内』や『細見記』といった本が出版されます。これには、宿場と宿場の距離や旅籠の宿泊料金、馬の駄賃に名所案内から土産物まで細かく掲載されていました。まさに今のガイドブックといったところでしょう。

平和な時代が続いた江戸時代、庶民信仰に伴う神社仏閣参詣の旅が盛んになり、各地の門前町は飛躍的に発展していったのです。(次回に続きます。)

☆ イベント等の関連情報については、FEEL成田 (<https://www.nr-tk.jp>) をご覧下さい。 ☆